

# 日刊 勤労千葉

85. 11. 6  
No. 2082

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七・二〇七

優勝 館山支部 準優勝 千葉転支部 第三位 津田沼支部

ぬけるようなすみわたった秋空のもと、第七回団結祭典―大運動会が、盛大におこなわれました。会場の千鉄学園グラウンドは、九時には続々と組合員・家族・各界来賓四五七名がつめかけ、色とりどりのスポーツウエア、子供たちのはしゃぐ声など「分割・民営化」の10万人首切り攻撃の暗雲をふきとばす団結と活気にあふれました。

四五七名、十一月ストへむけ  
鋭気やしなう

## 団結祭典 意気高くなごやかに

九時半から各支部旗を先頭に軽快なマーチにのった入場行進、祭典実行委員長の開会宣言に続いて、中野祭典委員長が「国鉄情勢はいよいよ決戦期に入った。この団結と路線と決意があれば、まちがいなく勝利の展望はもぎとれる。今日一日の鋭気を十一月スト貫徹へむけて思いっきり爆発させよう」とあいさつしました。また、来賓を代表して、今年もトラックいっぱい野菜を提供してくれた三里塚芝山連合空港反対同盟の北原事務局長からあいさつをうけ、選手宣誓・準備体操等のち、ただちに競技にはいりました。

組合員・家族一体となつて走り、声援し、もらった賞品に大よろこびし、また、恒例の模擬店でやきとりをほおばり、オデン・カキ氷・モチツキ実演、産地直送海産物店など、終日にぎやかな歓声がグラウンドにひびきました。中でも全員が

王座ゆるがす  
優勝旗をまもる  
千ピッチたち



中野 祭典委員長



北原さん

参加しての「クイズ」、力の入った「つな引き」初登場の「団体なわとび」（これがなかなかむずかしいのだ！）等に やんやのにぎわい。フィナーレは恒例・注目の「青年部対抗」「支部対抗」リレーの決勝―ここで総合優勝の勝敗が決するのだ。各支部観客席総立ちの応援。結果は、青年部リレーでは木更津、支部リレーでは館山が各々優勝。熱戦の余韻さめやらぬ中、恒例の「抽せん会」に一喜一憂。

十五時すぎ、表彰式・閉会式。総合優勝は、今年もまた館山支部。準優勝―千葉転、第三位―津田沼。最後に、十一月第一波ストを皮切りに、家族ぐるみ・地域ぐるみの国鉄決戦を意気高く闘いぬいていくことを誓い合って、全員で団結ガンバリを三唱して、大成功のうちに終了しました。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ。